

H29年度

2. Na, K, Cl, Ca, P 報告 (ドライ含む)

NTT東日本関東病院 臨床検査部

岡村 邦彦



ナトリウム



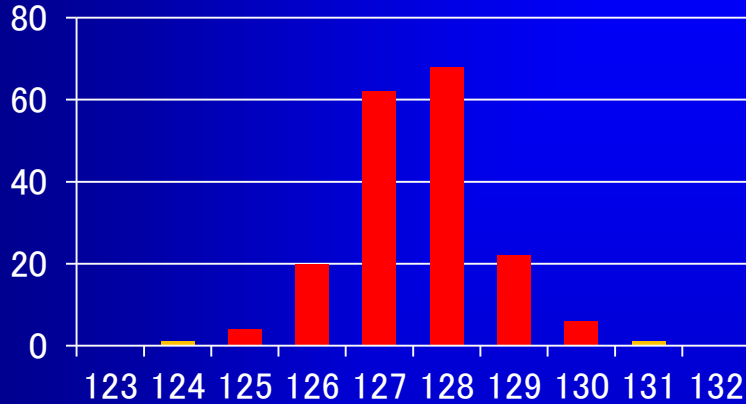
ナトリウム(方法別)

名称	S-1				S-2			
	N数	平均	SD	CV	N数	平均	SD	CV
希釈法	178	127.6	1.0	0.8	179	141.6	1.0	0.7
非希釈法 /常光	3	127.7	1.5	1.2	3	142.0	1.0	0.7
非希釈法 /テクノメディカ	1	128.0			1	144.0		
全体	182	127.6	1.1	0.8	183	141.7	1.1	0.8



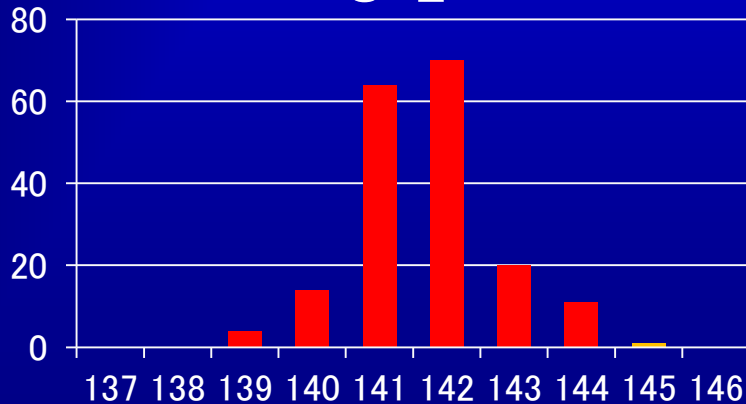
ナトリウム

S-1

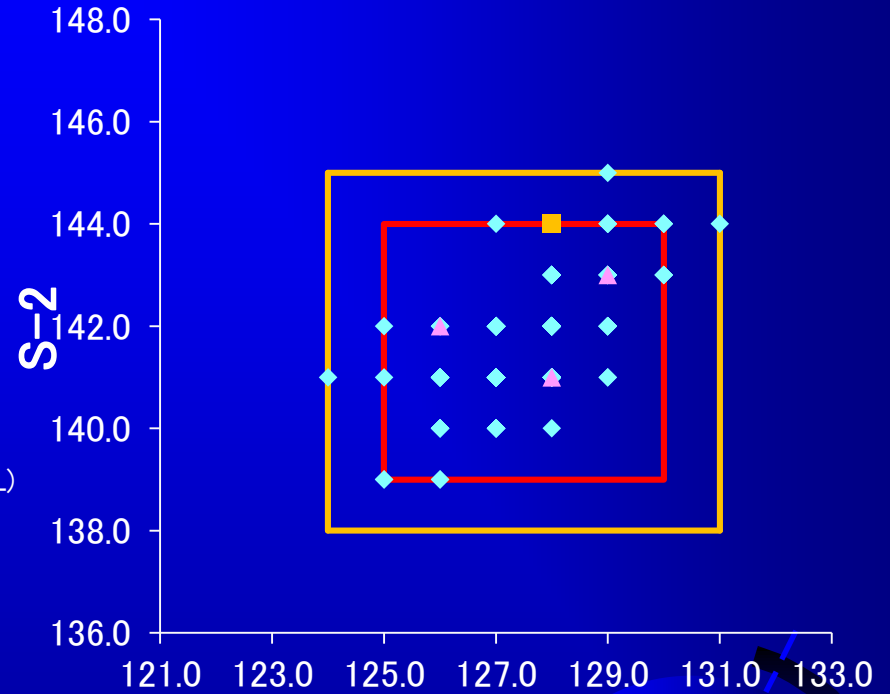


目標値: 127.9 評価A: 125~130 評価B: 124~131 (単位mmol/L)

S-2



目標値: 141.7 評価A: 139~144 評価B: 138~145 (単位mmol/L)



S-1

- ◆ 希釈法
- ▲ 非希釈法(常光)
- 非希釈法(テクノメディカ)



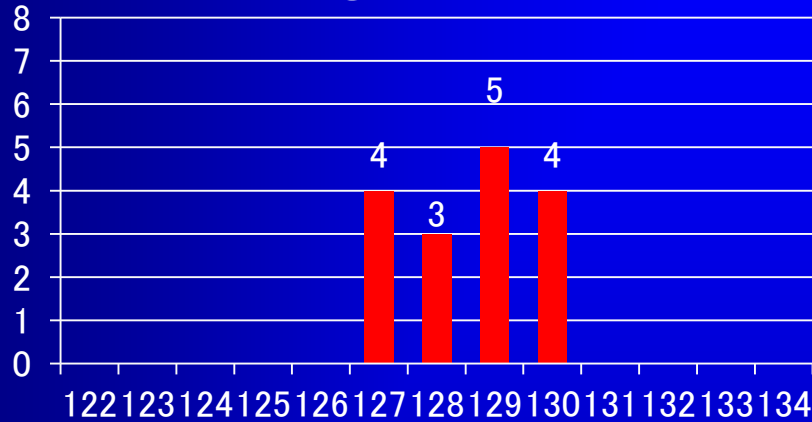
ナトリウム(ドライ)

名称	S-1				S-2			
	N数	平均	SD	CV	N数	平均	SD	CV
ビトロス	4	127.3	0.5	0.4	4	144.8	1.3	0.9
富士ドライケム	12	129.0	1.0	0.7	12	144.0	1.0	0.7
全体	16	128.6	1.2	0.9	16	144.2	1.1	0.8



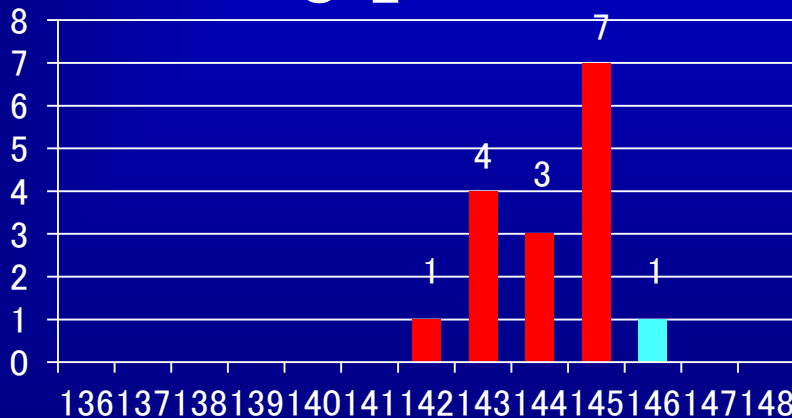
ナトリウム(ドライ)

S-1

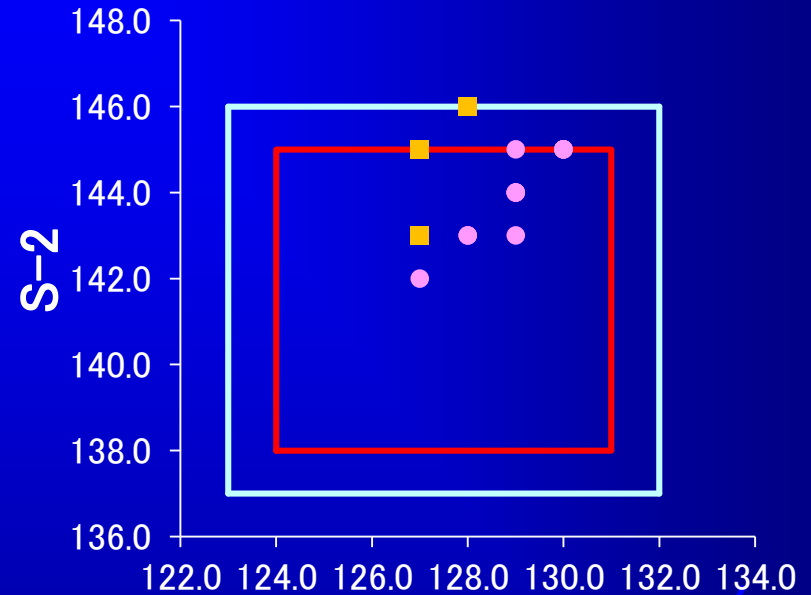


目標値: 127.9 評価A: 124~131 評価C: 123~132 (単位mmol/L)

S-2



目標値: 141.7 評価A: 138~145 評価C: 137~146 (単位mmol/L)



S-1

■ ビトロス

● 富士ドライケム



ナトリウム解析結果

- 1.参加施設のうちドライを含む希釈法・非希釈法の報告値は非常に収束していた。
2. 希釈法の測定機器を選択しているのに、非希釈法で誤入力している施設が2施設あった。

3. 評価結果

	試料	件数	評価A	評価A%	評価B	評価B%	評価C	評価C%	評価D	評価D%
	S-1	184	182	98.9	2	1.1	0	0.0	0	0.0
	S-2	184	183	99.5	1	0.5	0	0.0	0	0.0
ドライ	S-1	16	16	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	S-2	16	15	93.8	0	0.0	1	6.3	0	0.0

カリウム



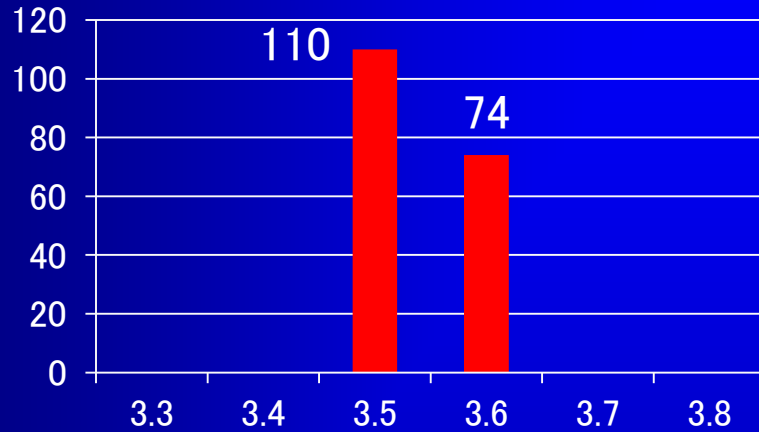
カリウム(方法別)

名称	S-1				S-2			
	N数	平均	SD	CV	N数	平均	SD	CV
希釈法	180	3.54	0.05	1.4	180	5.26	0.06	1.1
非希釈法 /常光	3	3.53	0.06	1.6	3	5.17	0.06	1.1
非希釈法 /テクノメディカ	1	3.50			1	5.30		
全体	184	3.54	0.05	1.4	184	5.25	0.06	1.1



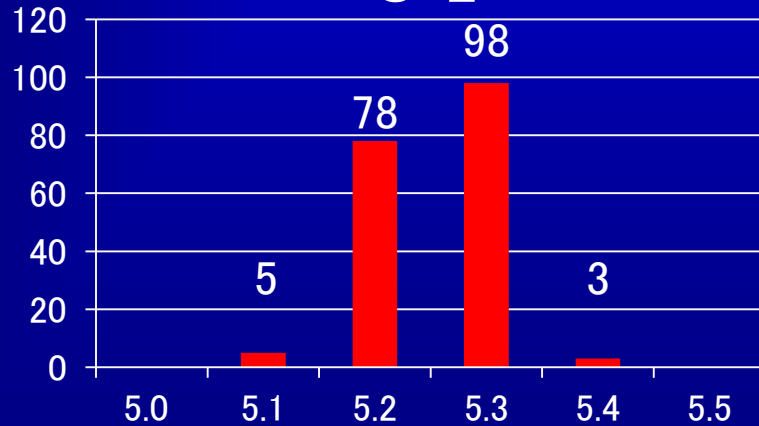
カリウム

S-1

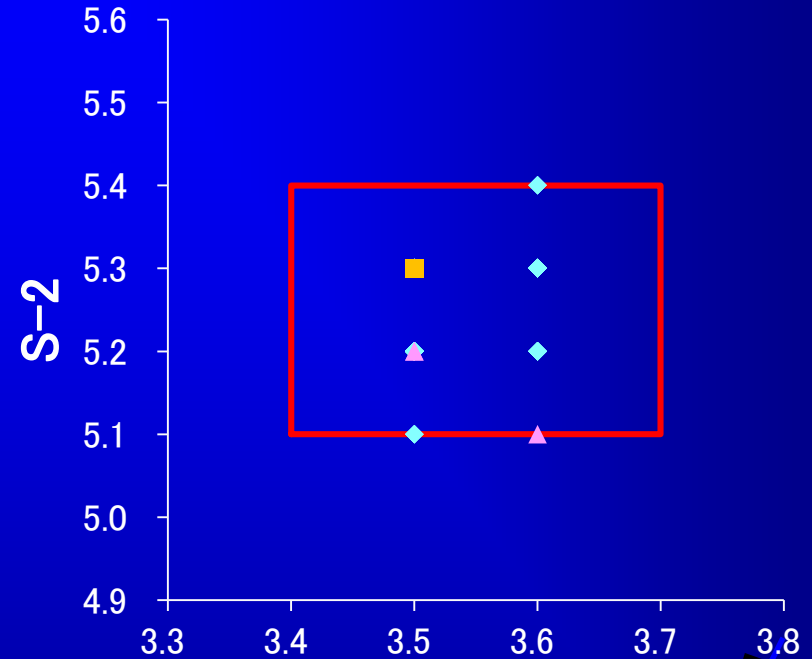


目標値: 3.54 評価A: 3.4~3.7 評価B: 3.3~3.8 (単位mmol/L)

S-2



目標値: 5.25 評価A: 5.1~5.4 評価B: 4.9~5.6 (単位mmol/L)



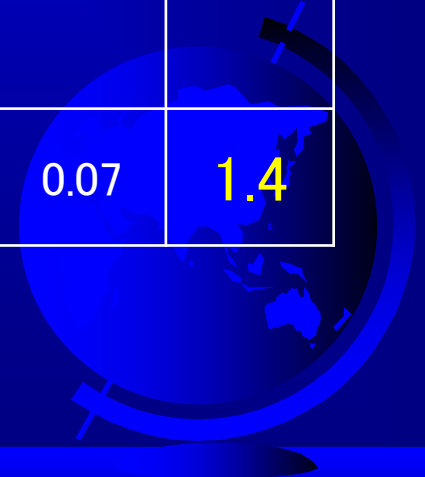
S-1

- ◆ 希釈法
- ▲ 非希釈法(常光)
- 非希釈法(テクノメディカ)



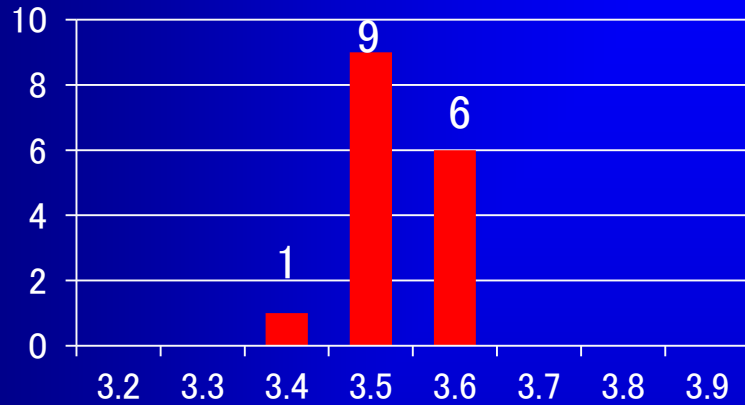
カリウム(ドライ)

	S-1				S-2			
名称	N数	平均	SD	CV	N数	平均	SD	CV
ビトロス	4	3.60			4	5.40		
富士ドライケム	12	3.51	0.05	1.5	12	5.34	0.08	1.5
全体	16	3.53	0.06	1.7	16	5.36	0.07	1.4

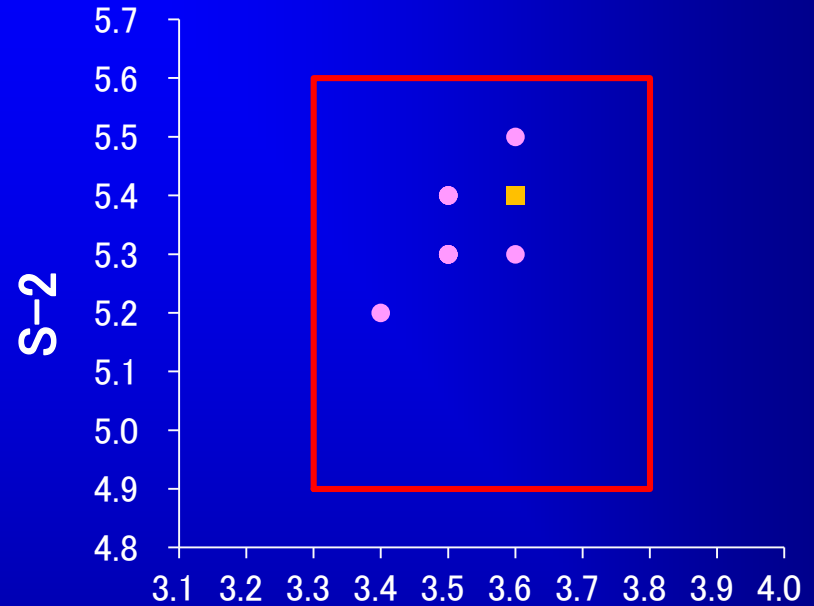


カリウム(ドライ)

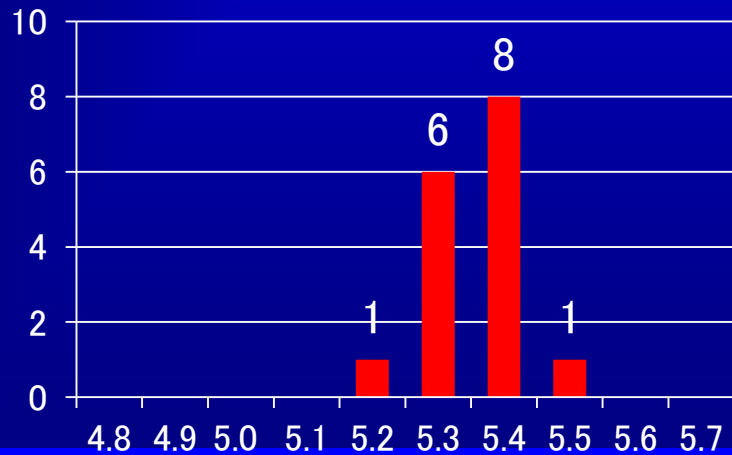
S-1



目標値: 3.54 評価A: 3.3~3.8 (単位mmol/L)



S-2



目標値: 5.25 評価A: 4.9~5.6 (単位mmol/L)

- ビトロス
- 富士ドライケム



カリウム解析結果

- 1.参加施設のうちドライを含む希釈法・非希釈法の報告値は非常に収束していた。
- 2.希釈法の測定機器を選択しているのに、非希釈法で誤入力している施設が2施設あった。

3.評価結果

	試料	件数	評価A	評価A%	評価B	評価B%	評価C	評価C%	評価D	評価D%
	S-1	184	184	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	S-2	184	184	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
ドライ	S-1	16	16	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	S-2	16	16	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

クロール

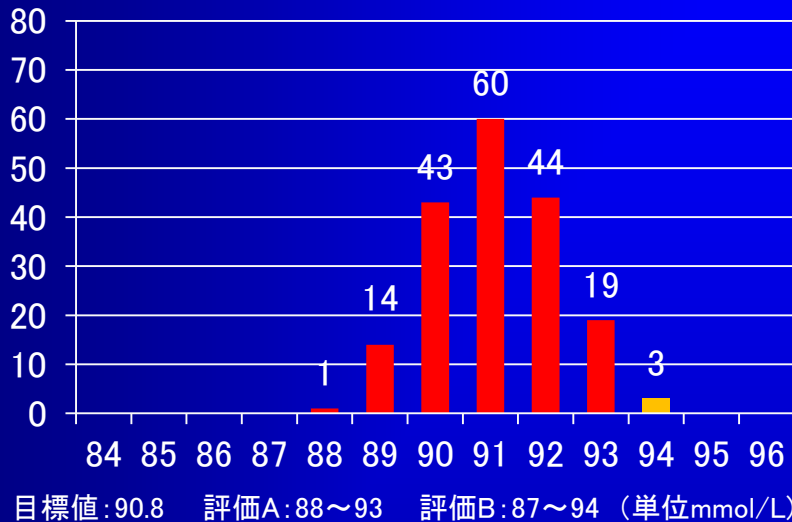


クロール(方法別)

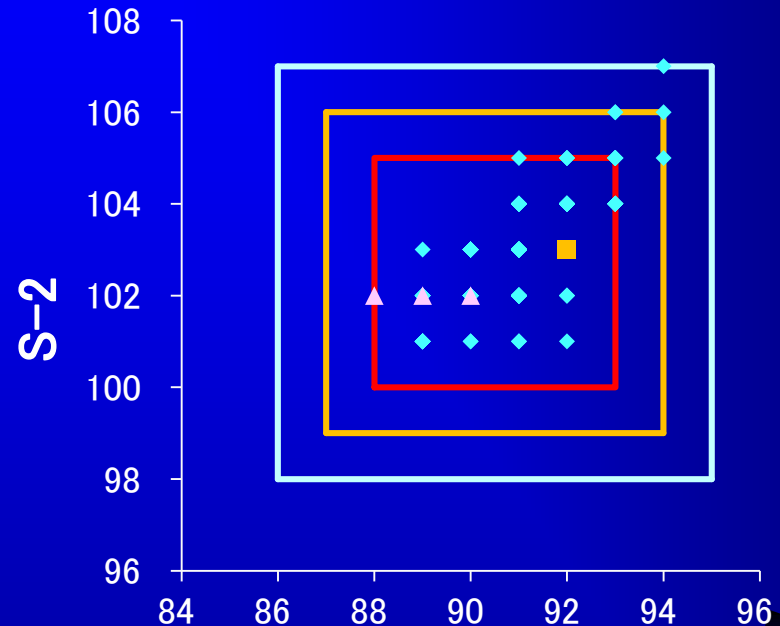
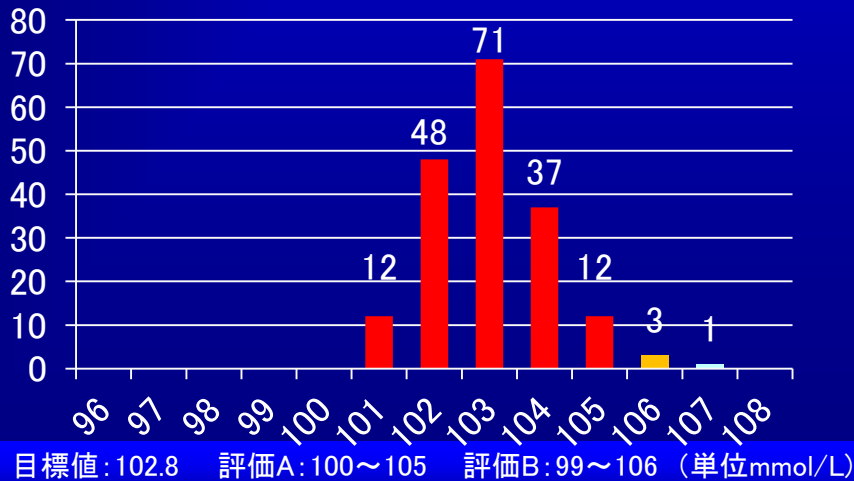
名称	S-1				S-2			
	N数	平均	SD	CV	N数	平均	SD	CV
日立	69	91.4	1.1	1.2	69	103.4	1.2	1.2
エイアンドティー	54	91.8	0.9	0.9	54	103.1	1.0	0.9
東芝	46	90.0	0.6	0.7	46	102.4	0.7	0.7
シーメンスHCD	3	91.3	0.6	0.6	3	102.0	1.0	1.0
BC電極(AUシリーズ)	5	90.6	0.5	0.6	5	102.4	0.5	0.5
常光	1	88.0			1	102.0		
その他	2	91.5	0.7	0.8	2	103.0	0.0	0.0
非希釈法/常光	2	89.5	0.7	0.8	2	102.0	0.0	0.0
非希釈法/テクノメディカ	1	92.0			1	103.0		
全体	183	91.1	1.2	1.3	183	103.0	1.1	1.1

クロール(方法別)

S-1



S-2



S-1

- ◆ 希釈法
- ▲ 非希釈法(常光)
- 非希釈法(テクノメディカ)



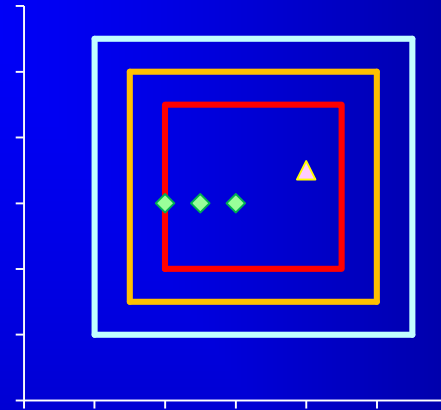
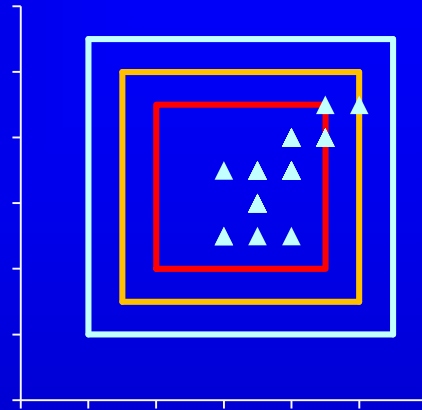
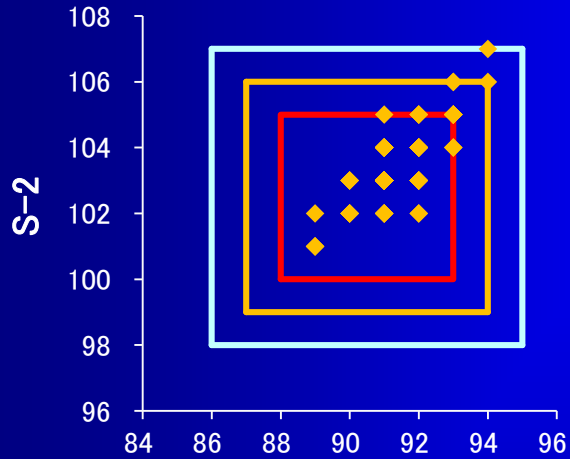
クロール(メーカー別)

日立

エイアンドティー

テクノメディカ

常光



- ▲テクノメディカ
- ◆常光

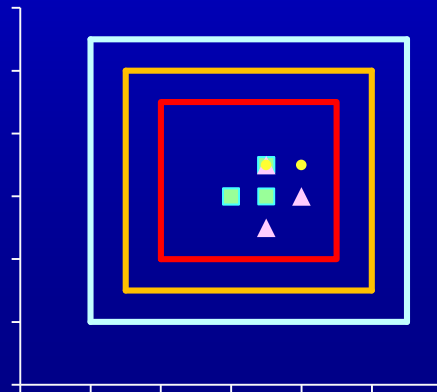
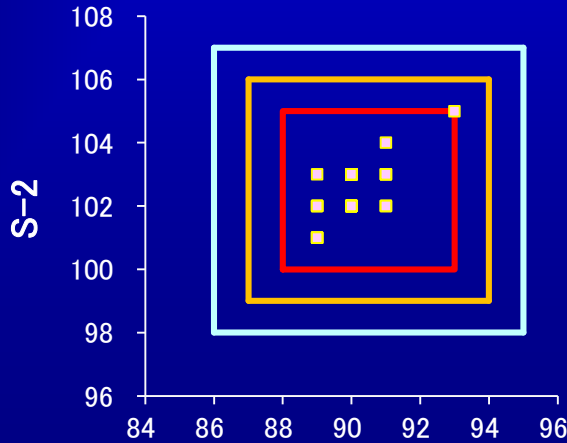
S-1

東芝

BC電極

シーメンスHCD

その他



- BC電極(AUシリーズ)
- ▲シーメンスHCD
- その他

S-1



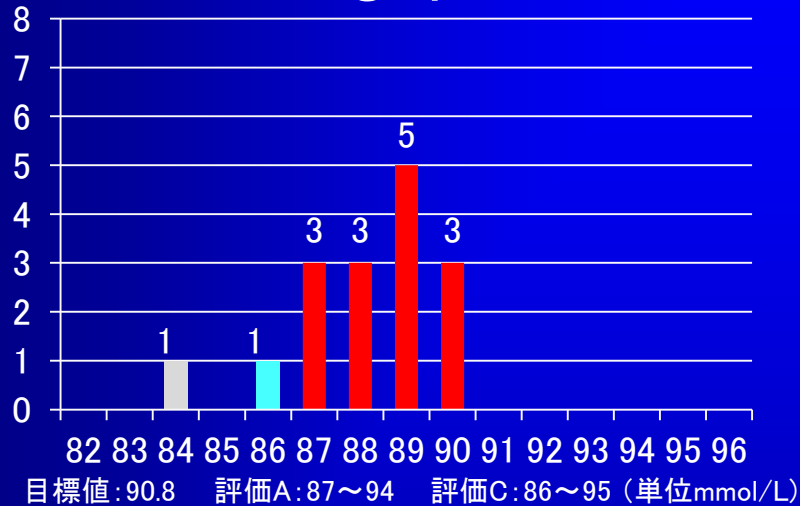
クロール(ドライ)

名称	S-1				S-2			
	N数	平均	SD	CV	N数	平均	SD	CV
ビトロス	4	89.8	0.5	0.6	4	102.5	0.6	0.6
富士ドライケム	12	87.6	1.5	1.7	12	100.4	1.9	1.9
全体	16	88.1	1.6	1.8	16	100.9	1.9	1.9

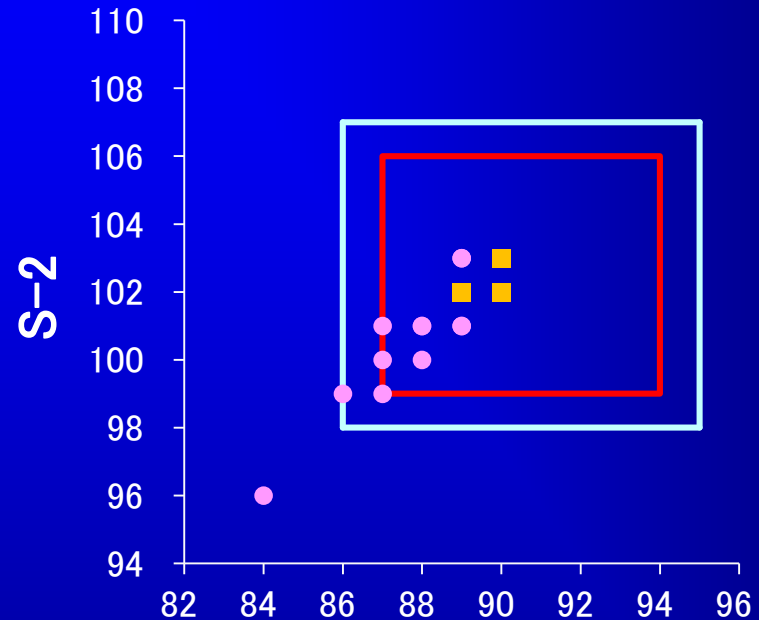
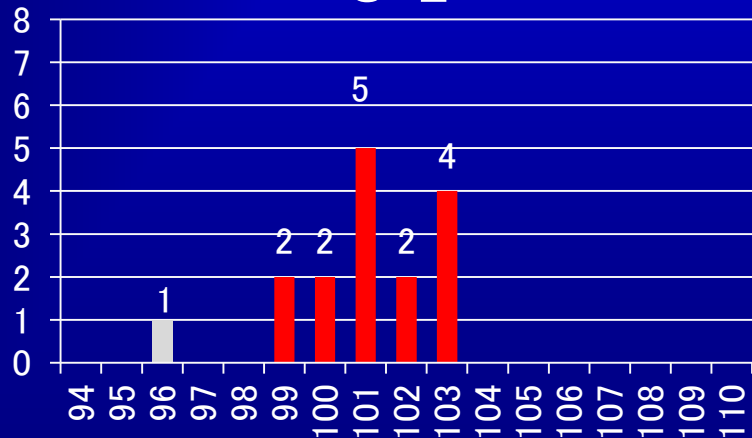


クロール(ドライ)

S-1



S-2



S-1

- ビトロス
- 富士ドライケム



クロール解析結果

- 1.A評価が参加施設の9割以上であった。
- 2.方法別に測定値の乖離は見られなかったが、WETと比較しドライで低値傾向を示した。
- 3.希釈法の測定機器を選択しているのに、非希釈法で誤入力している施設が2施設あった。

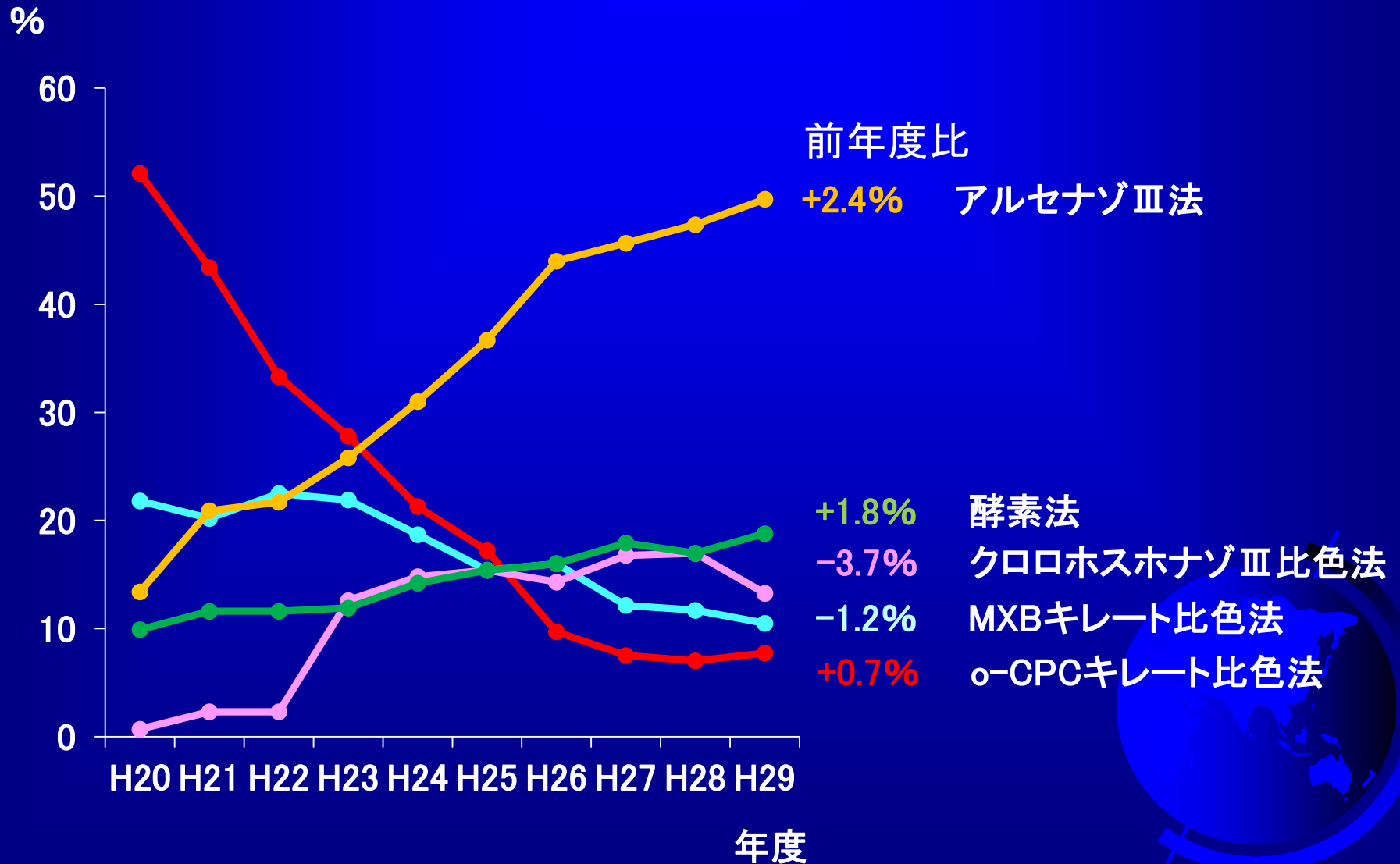
4.評価結果

	試料	件数	評価A	評価A%	評価B	評価B%	評価C	評価C%	評価D	評価D%
	S-1	184	181	98.4	3	1.6	0	0.0	0	0.0
	S-2	184	180	97.8	3	1.6	1	0.5	0	0.0
ドライ	S-1	16	14	87.5	0	0.0	1	6.3	1	6.3
	S-2	16	15	93.8	0	0.0	0	0.0	1	6.3

カルシウム



カルシウム方法別採用比率

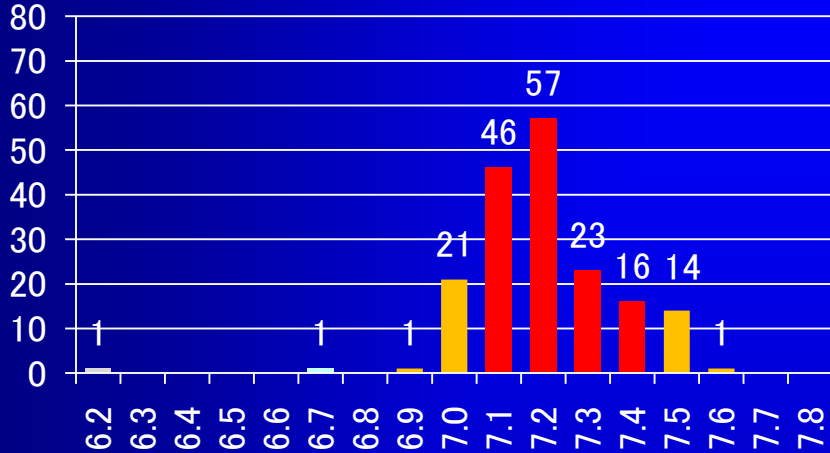


カルシウム(方法別)

名称	S-1				S-2			
	N数	平均	SD	CV	N数	平均	SD	CV
オルトクレゾール フタレイン比色法	14	7.02	0.32	4.5	14	9.29	0.36	3.8
メチルキシレノール ブルー比色法	19	7.16	0.13	1.8	19	9.38	0.12	1.3
アルセナゾⅢ 比色法	90	7.17	0.10	1.4	88	9.49	0.11	1.2
クロロホスホナゾ 比色法	24	7.43	0.10	1.4	24	9.70	0.14	1.4
酵素法	34	7.20	0.09	1.3	34	9.57	0.12	1.2
全体	181	7.20	0.17	2.3	179	9.51	0.19	2.0

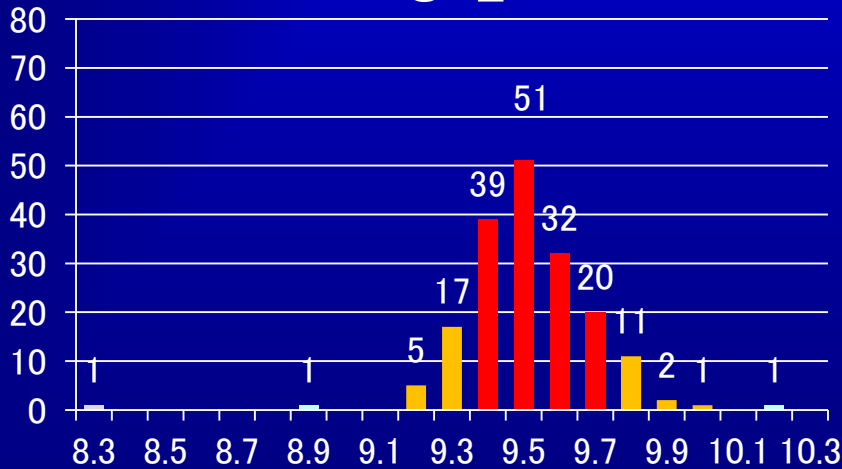
カルシウム(方法別)

S-1

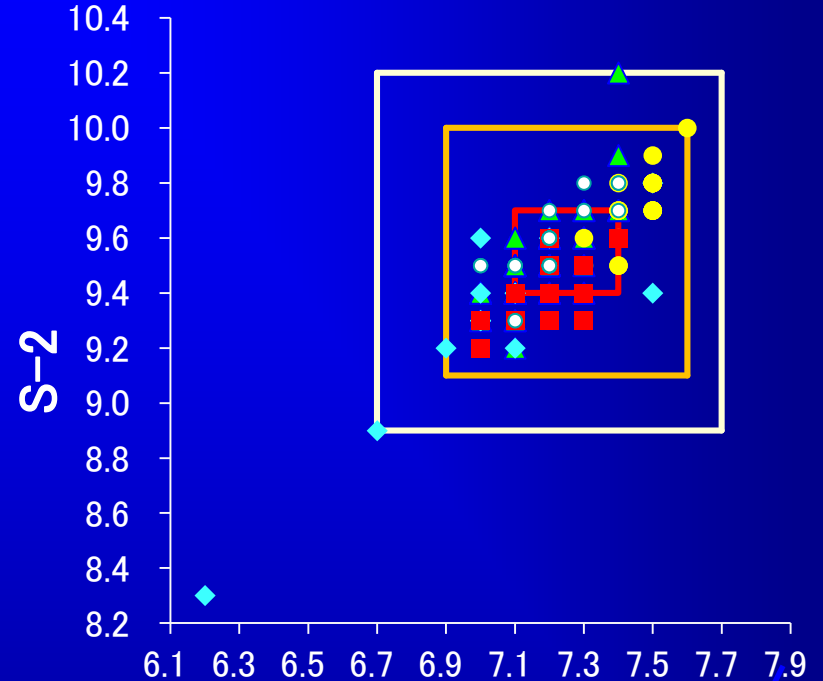


目標値: 7.23 評価A: 7.1~7.4 評価B: 6.9~7.6 (単位mg/dL)

S-2



目標値: 9.56 評価A: 9.4~9.7 評価B: 9.1~10.0 (単位mg/dL)



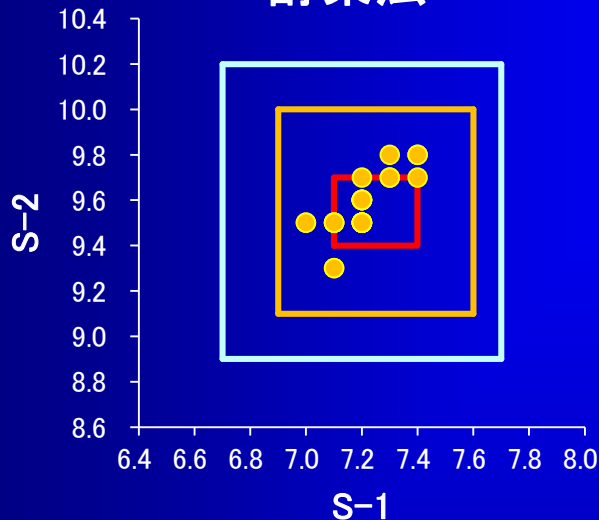
S-1

- ▲ アルセナゾⅢ法
- ◆ OCPC法
- クロロホスホナゾⅢ法
- MXB法
- 酵素法

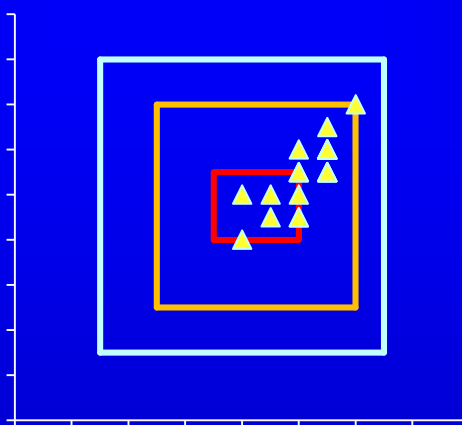


カルシウム(方法別)

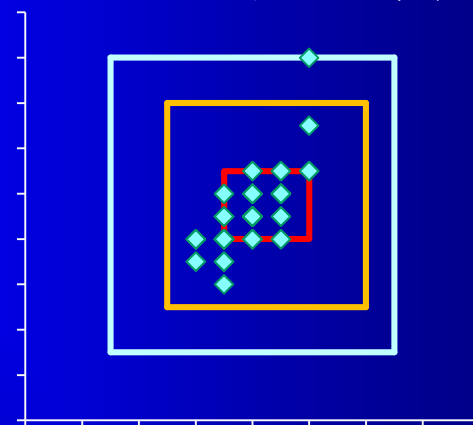
酵素法



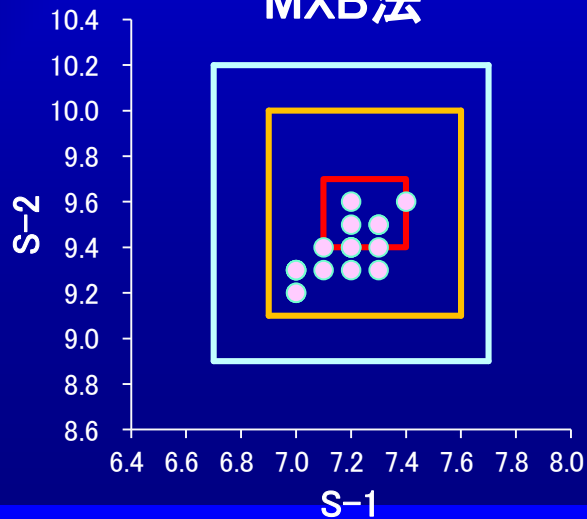
クロロホスホナゾⅢ法



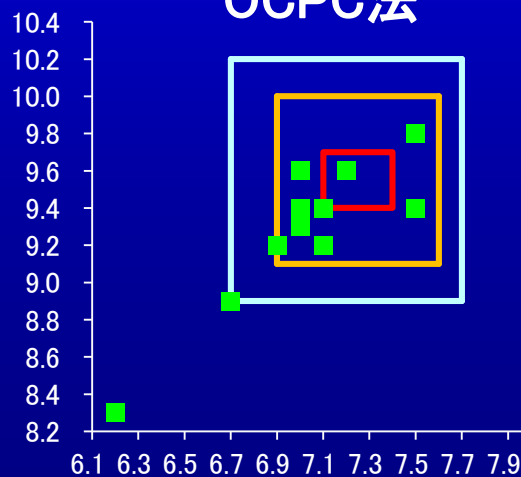
アルセナゾⅢ法



MXB法



OCPC法



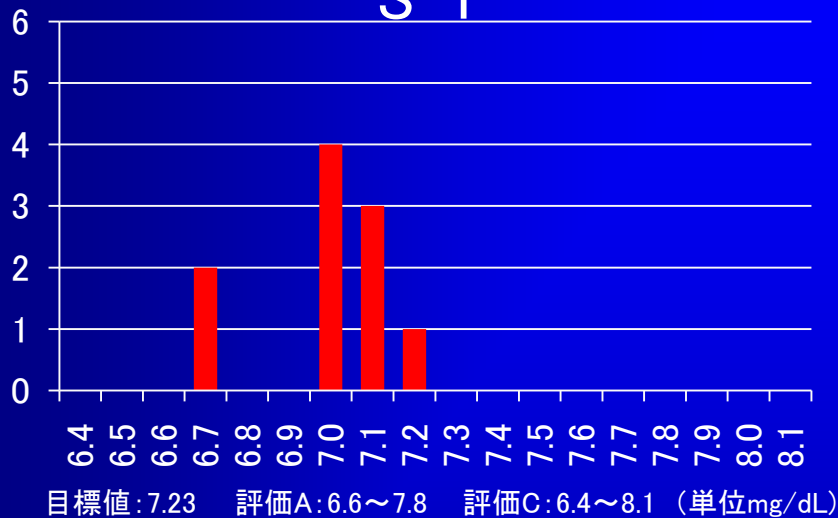
カルシウム(ドライ)

名称	S-1				S-2			
	N数	平均	SD	CV	N数	平均	SD	CV
ビトロス	4	7.08	0.10	1.4	4	9.60	0.08	0.9
富士ドライケム	6	6.93	0.19	2.7	6	9.57	0.31	3.3
全体	10	6.99	0.17	2.4	10	9.58	0.24	2.5

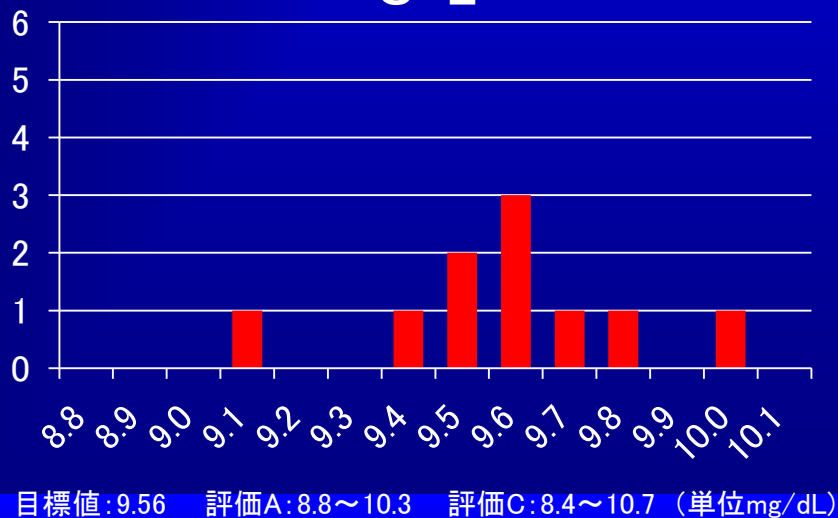


カルシウム(ドライ)

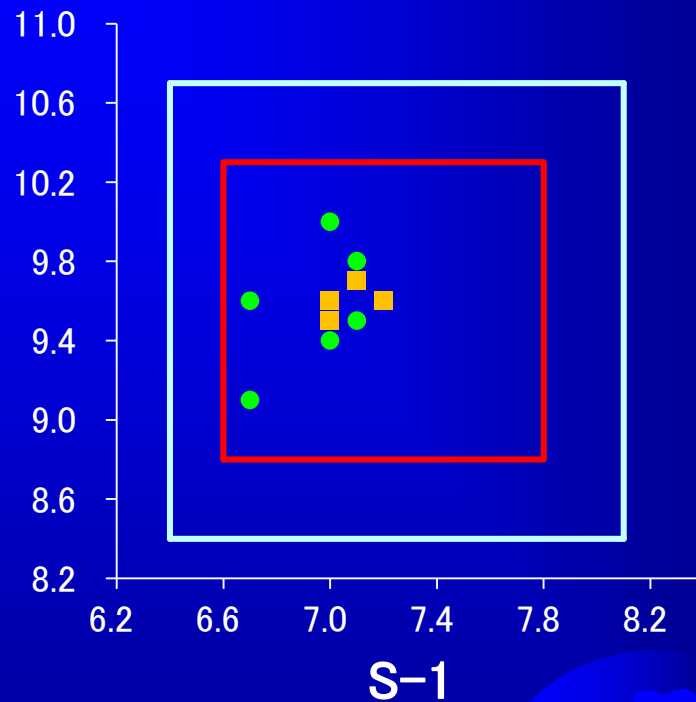
S-1



S-2



S-2



カルシウム解析結果

- 1.方法別採用比率は概ね横ばいの結果となっていた。
- 2.例年と同じくA評価7割、B評価2割の結果であった。ドライと合わせてもWETのB評価相当の収束度合いであった。

3. 評価結果

	試料	件数	評価A	評価A%	評価B	評価B%	評価C	評価C%	評価D	評価D%
	S-1	181	142	78.5	37	20.4	1	0.6	1	0.6
	S-2	181	142	78.5	36	19.9	2	1.1	1	0.6
ドライ	S-1	10	10	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	S-2	10	10	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

無機リン



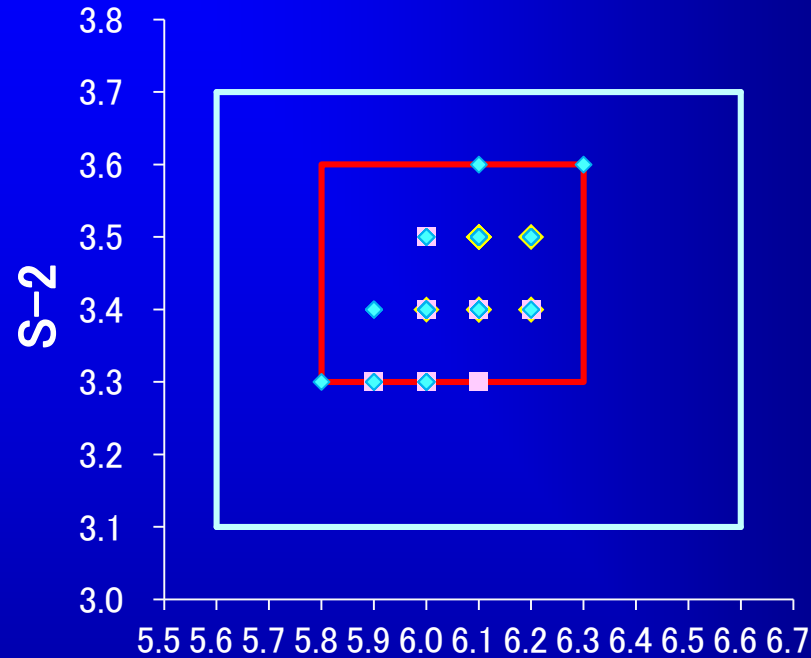
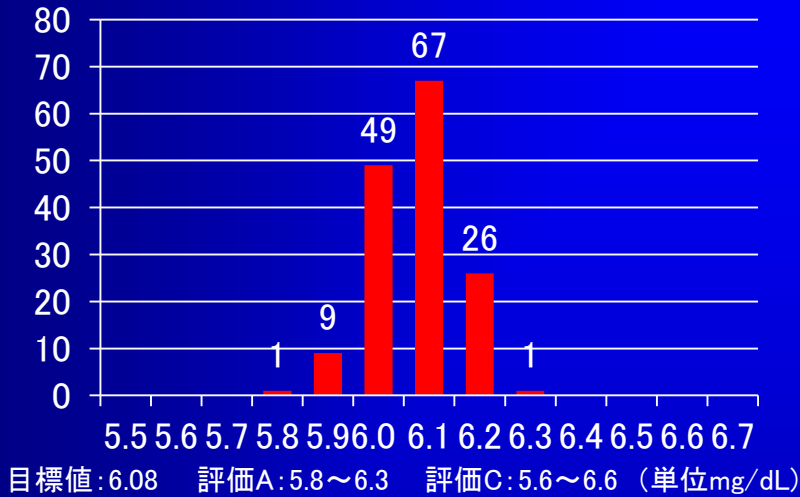
無機リン(方法別)

名称	S-1				S-2			
	N数	平均	SD	CV	N数	平均	SD	CV
酵素法	120	6.07	0.09	1.4	121	3.44	0.07	1.9
モリブデン酸・UV法	21	6.07	0.07	1.2	21	3.38	0.05	1.6
モリブデン・ブルー法	11	6.12	0.06	1.0	11	3.45	0.05	1.5
全体	152	6.07	0.09	1.4	153	3.43	0.07	2.0

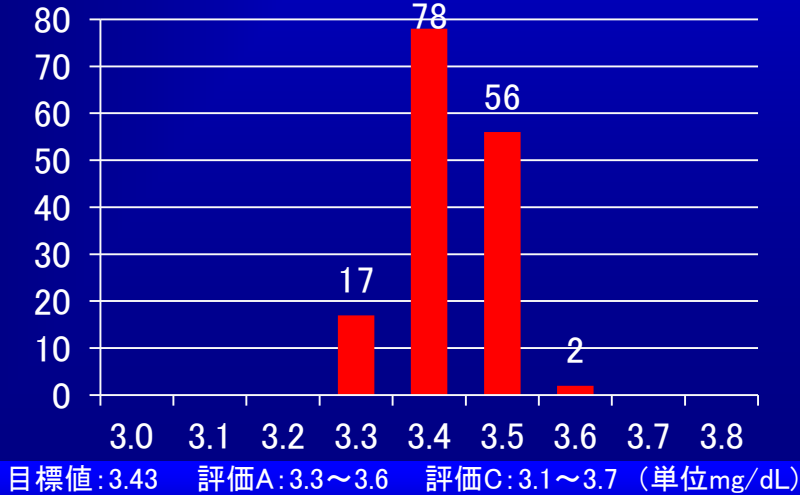


無機リン

S-1



S-2



S-1

- ◆ モリブデン・ブルー法
- モリブデン酸・UV法
- ◆ 酵素法



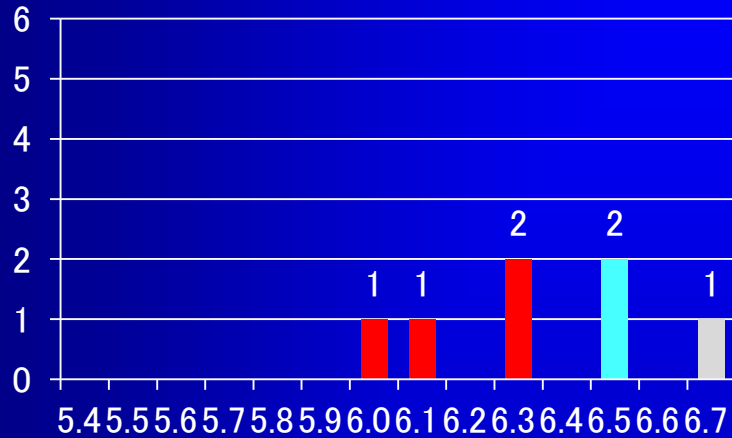
無機リン(ドライ)

名称	S-1				S-2			
	N数	平均	SD	CV	N数	平均	SD	CV
ビトロス	3	6.13	0.15	2.5	3	3.70	0.10	2.7
富士ドライケム	4	6.50	0.16	2.5	4	3.68	0.10	2.6
全体	7	6.34	0.24	3.8	7	3.69	0.09	2.4



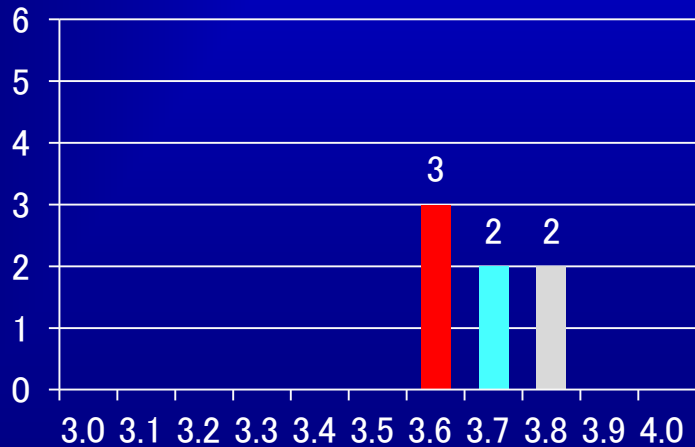
無機リン(ドライ)

S-1

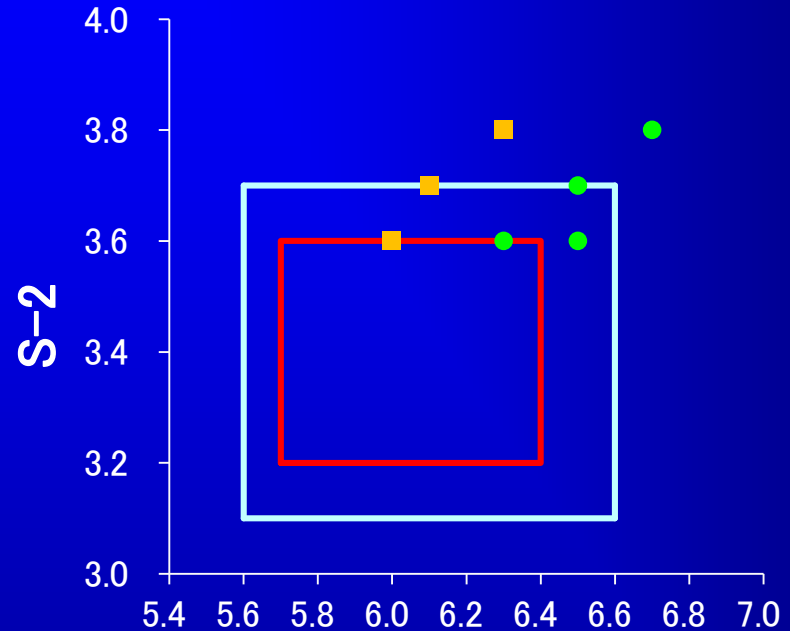


目標値: 6.08 評価A: 5.7~6.4 評価C: 5.6~6.6 (単位mg/dL)

S-2



目標値: 3.43 評価A: 3.2~3.6 評価C: 3.1~3.7 (単位mg/dL)



S-1

■ ビトロス スライド

● 富士ドライケム



無機リン解析結果

- 1.参加施設すべてが評価Aとなり施設間で測定値が収束しているといえる。
- 2.WET試薬と比較しドライでは高値傾向を示し、昨年度よりも傾向が強かった。さらにメーカー間差も見受けられたため今年度は評価対象外とした。

3.評価結果

	試料	件数	評価A	評価A%	評価B	評価B%	評価C	評価C%	評価D	評価D%
	S-1	153	153	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	S-2	153	153	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
ドライ	S-1	7	評価対象外							
	S-2	7								